

### 3 減災のためのソフト対策の推進

危険箇所を周知し、避難活動につなげるため、(1)土砂災害警戒区域等の指定、(2)警戒避難活動に役立つ災害危険情報の発信、(3)防災意識の啓発等、「減災のためのソフト対策」に重点的に取り組む。

#### 【ソフト対策の取組体系】

##### (1) 土砂災害警戒区域等の指定

- ① 土砂災害警戒区域等(Y・R区域)の見直し
- ② CGハザードマップでの周知

##### (2) 警戒避難活動に役立つ災害危険情報の発信

###### 県民への情報発信

- ① 土砂災害警戒情報
- ② 地域別土砂災害危険度

###### 市町への情報発信

- ③ 箇所別土砂災害危険度

##### (3) 防災意識の啓発

- ① 土砂災害防止の広報活動
- ② 防災パトロール等の実施
- ③ 地すべり資料館

#### 【インターネットからの情報入手方法】

兵庫県 CGハザードマップ  
地域の風水害対策情報

平常時から災害に備えよう  
5つの自然災害のハザードマップを確認しよう  
(ご覧になりたいハザードマップをクリックしてください)

土砂災害  
ハザードマップ  
を見る  
click

洪水  
ハザードマップ  
を見る  
click

ため池  
ハザードマップ  
を見る  
click

津波  
ハザードマップ  
を見る  
click

高潮  
ハザードマップ  
を見る  
click

身の回りの危険箇所を知ろう ~CGハザードマップ~

洪水 土砂災害 津波 高潮 ため池災害

郵便番号、住所、目標物から検索  
入力例：650-8567、神戸市中央区下山手通、元町 検索

観測情報  
気象情報  
兵庫県気象情報  
気象庁ホームページ

リアルタイム情報  
川の情報  
県内各地の雨量、河川水位が見られます  
道の情報  
県内の道路状況が見られます  
山の情報  
県内各地の土砂災害危険度が見られます  
海の情報  
県内各地の潮位が見られます

ライブカメラの情報  
河川カメラ・港内カメラ

防災学習 ~災害について知ろう~  
洪水 土砂災害  
について学習

兵庫県CGハザードマップ トップ画面

##### (1) ② CGハザードマップでの周知

土砂災害の発生するおそれがある土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域等の情報を配信

##### (2) ② 地域別土砂災害危険度

県内を1kmメッシュに細分化し2時間先までの土砂災害の危険度を配信

##### 【その他】防災学習

過去の土砂災害の記録や避難時の留意点等を学習

## (1) 土砂災害警戒区域等の指定

危険箇所の周知と警戒避難体制の整備を図るため、はじめに土砂災害警戒区域（Y区域）の指定に取り組み、平成26年度に一旦完了した。続いて、平成26年度から土砂災害特別警戒区域（R区域）の指定に取り組み、令和3年5月に完了した。令和3年度からは、地形改変箇所や対策工設置箇所等における区域の見直しに着手する。

**土砂災害警戒区域（Y区域）**

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域

(効果)

- ・市町地域防災計画への警戒避難体制の記載
- ・災害時要援護者施設利用者への情報伝達の徹底
- ・土砂災害ハザードマップによる周知の徹底
- ・宅地建物取引における重要事項説明


**土砂災害特別警戒区域（R区域）**

Y区域のうち、土石の直撃等により建築物が破壊されるおそれのある、特に危険度が高い区域

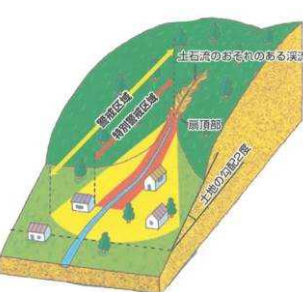
(効果)

- ・宅地分譲等の開発行為に対する許可制
- ・建築物の構造の規制
- ・建築物の移転等の勧告
- ・宅地建物取引における重要事項説明

急傾斜地の崩壊



土石流



※ 土砂災害の種類には「急傾斜地の崩壊」、「土石流」のほか「地滑り」がある

### ① 土砂災害警戒区域等（Y R区域）の見直し

Y R区域の指定後は、土砂災害防止法第4条（基礎調査）に基づき、おおむね5年ごとに対策施設の整備、地形改変、土地利用の変更等による区域の見直しを実施する。

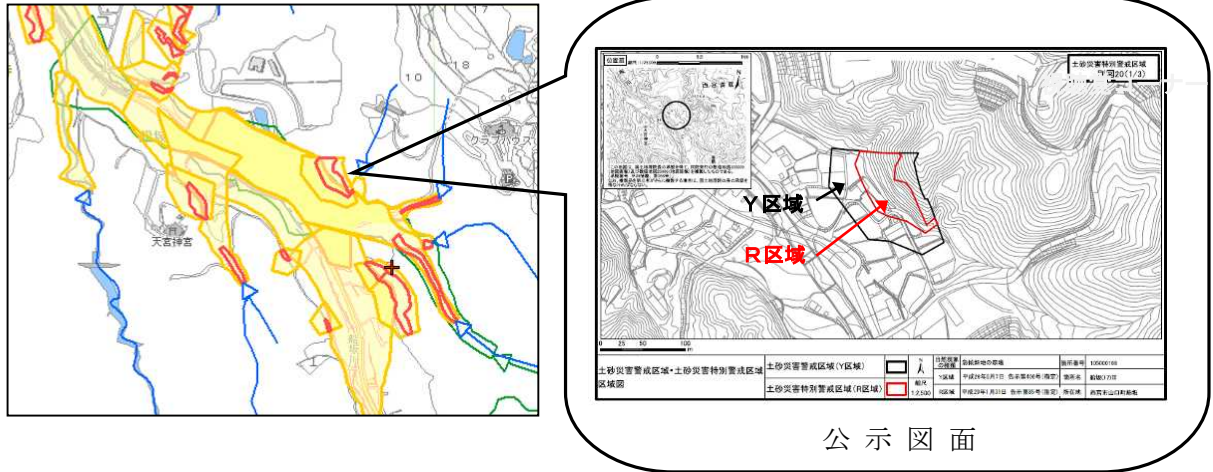
#### 【Y R区域の指定数】

(令和3年5月末)

種別	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
Y区域	2,348	323	1,213	174	1,386	2,161	4,159	4,976	2,788	1,882	21,410
R区域	1,062	150	705	66	865	1,330	2,784	2,787	1,898	1,234	12,881

## ② CGハザードマップでの周知

指定した土砂災害警戒区域等については、CGハザードマップ（兵庫県ホームページ）に掲載するとともに、公示図面（1/2,500）についても閲覧できるように、広く県民に周知している。



## (2) 警戒避難活動に役立つ災害危険情報の発信

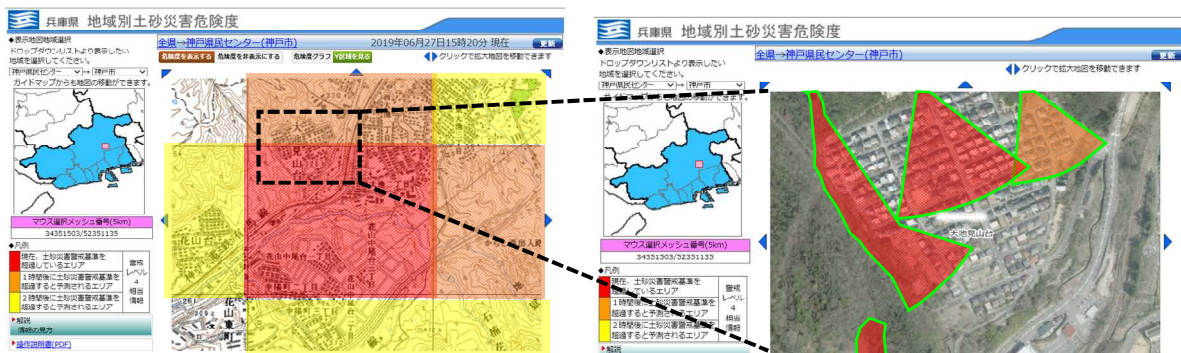
### 県民への情報発信

#### ① 土砂災害警戒情報

「土砂災害警戒情報」は、大雨により土砂災害の危険度が上がった際に、県と気象台が共同して市町単位で発表する防災情報である。この情報は、市町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難を促すことなどを目的としている。住民へは、TV・ラジオのニュースやテロップにより発信される。また、「ひょうご防災ネット」による携帯電話等への情報発信も行っている。

#### ② 地域別土砂災害危険度

「地域別土砂災害危険度」は、市町単位で発表している「土砂災害警戒情報」を補足する情報であり、県内を1kmメッシュに細分化したメッシュの色分けにより2時間先までの危険度を表示する。市町には避難勧告等の判断材料として、また、県民には自主避難等に活用してもらうよう、県のホームページで情報発信している。令和元年7月より、航空写真を背景に土砂災害警戒区域(Y区域)毎の危険度の表示を開始する改善を行った。



(従来画面) 1kmメッシュ単位の危険度表示

(令和元年7月～の追加画面) Y区域毎の危険度表示

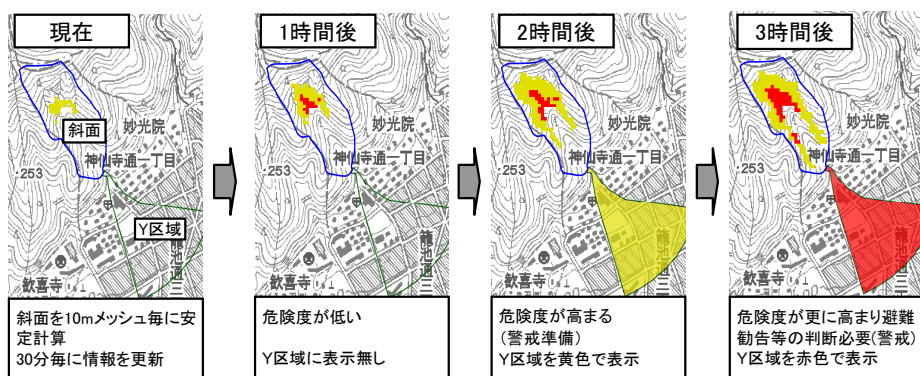
## 市町への情報発信

### ③ 箇所別土砂災害危険度

「箇所別土砂災害危険度」は、土砂災害警戒区域毎に3時間先までの危険度を算定し、赤色(警戒)、黄色(警戒準備)の2色で表示する県独自のシステムであり、市町と県が共同出資してシステムを構築している。地形・地質情報と実績降雨・予測降雨を用いており「地域別土砂災害危険度」に比べより局所的に危険度を予測できる。

現在、神戸市等13市町で運用しており、市町は、避難勧告発令・解除の判断、重点パトロール箇所の絞り込み等に活用している。

令和3年度は、新たに猪名川町においてシステムを構築する予定である。また、過去の災害実績を踏まえた予測精度の向上を図るとともに、未導入市町へのシステム導入の促進に取り組む。



凡例  
 (警戒準備)：降雨が継続した場合、警戒に変わる可能性が高い  
 (警戒)：土砂災害の危険度が高く、避難勧告等の判断が必要

運用中：神戸市・西宮市・芦屋市・豊岡市・宝塚市(表六甲山系のみ)・三田市  
 丹波篠山市・丹波市・養父市・朝来市・上郡町・新温泉町・香美町

### (3) 防災意識の啓発

#### ① 土砂災害防止の広報活動

土砂災害に関する県民の理解と関心を深め、防災意識の啓発や被害の防止を目的として、土砂災害防止月間(6/1～6/30)に、街頭キャンペーン等の広報活動を実施している(R2及びR3は、コロナ感染防止対策として街頭キャンペーンは中止)。併せて、出前講座等の防災教育への支援、小中学生を対象とした土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集及び表彰を行っている。



小学校での出前講座(丹波市立東小学校)



街頭キャンペーン(神戸市・三宮センター街)  
 ※R1年度の様子

## ② 防災パトロールの実施

土砂災害防止月間に市町や消防など関係機関と合同で土砂災害警戒区域等のパトロールを実施している。



防災パトロール（丹波市）

## ③ 防災訓練の実施

各土木事務所で開催する「総合土砂災害対策推進連絡会」では、市町に対し土砂災害に対する避難訓練等の積極的な取り組みを依頼し、令和2年度は、神戸市等11市町で避難訓練が実施された。（延べ約3万7千人が参加）

また、県・市町間でも毎年出水期前に土砂災害情報伝達演習を実施している。



避難訓練（養父市）

## ④ 砂防の父 赤木正雄氏等の広報・伝承

「砂防の父」と呼ばれる豊岡市出身の赤木正雄博士等の県出身の著名土木技術者の広報や伝承のため、県・市・関係団体で協議会を設置している。

令和2年度は、赤木正雄像の駐車場や案内標識設置など周辺整備を実施した。



赤木正雄博士像の案内標識設置等

## ⑤ 地すべり資料館の運営

阪神・淡路大震災時の経験と教訓を踏まえ、震災時の土砂災害や土砂災害対策の必要性、防災等について周知・啓発するため、西宮市仁川百合野町地区の地すべり復旧地に地すべり資料館を設置している。

（参考）令和2年度 来場者数 5,193人



地すべり資料館 見学風景

## トピックス⑩

### 土砂災害時の緊急点検調査に関する 兵庫県砂防ボランティア協会との協定締結

地震、大雨等により土砂災害が発生した場合、被災箇所の緊急点検調査に際し、県土木職員OBを中心とする特定非営利活動法人「兵庫県砂防ボランティア協会」の協力が得られるよう、令和元年6月に協定を締結しました。

これにより、土砂災害が発生した際に、機動的で精度が高い現地状況の把握が可能となりました。

#### 【団体概要】

NPO法人 兵庫県砂防ボランティア協会  
会員：101名、賛助会員24社（R3. 4. 5現在）

平成30年7月豪雨に伴う土砂災害発生箇所の緊急点検（延べ21名を派遣）

